

## 造船造機統計調査結果（平成18年1月分）の概要

### 1. 造船調査

#### (1) 集計工場数

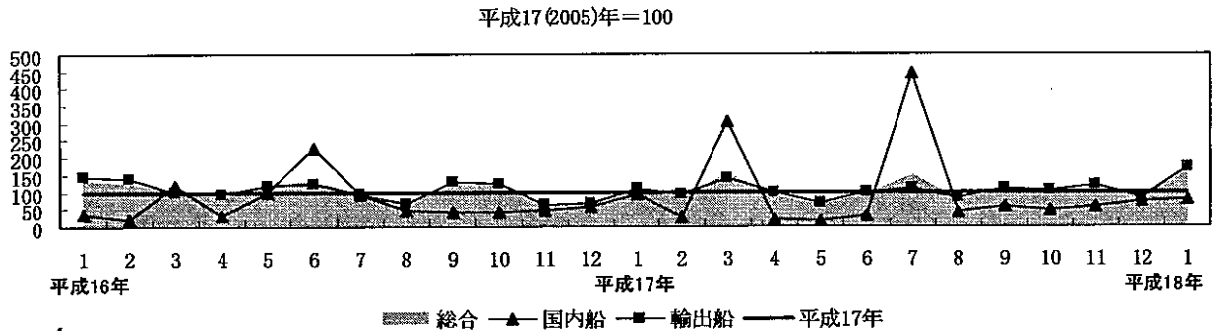
平成18年1月分の集計工場数は、鋼船については、502工場であった。  
強化プラスチック（木）船については、132工場であった。

#### (2) 鋼船建造実績

平成18年1月分の鋼船建造実績は、起工33隻、99万4千G/T、進水49隻、145万1千G/T、しゅん工58隻、190万2千G/T、しゅん工船価1,822億円、生産指数※①161.6であり、生産指数の前年同月比※②は、54.9%増であった。

このうち国内船は、しゅん工13隻、1万5千G/T、しゅん工船価101億円、生産指数78.1であり、生産指数の前年同月比は、25.6%減であった。また、輸出船は、しゅん工45隻、188万7千G/T、しゅん工船価1,722億円、生産指数172.4であり、生産指数の前年同月比は、62.9%増であった。

#### ①生産指数の推移

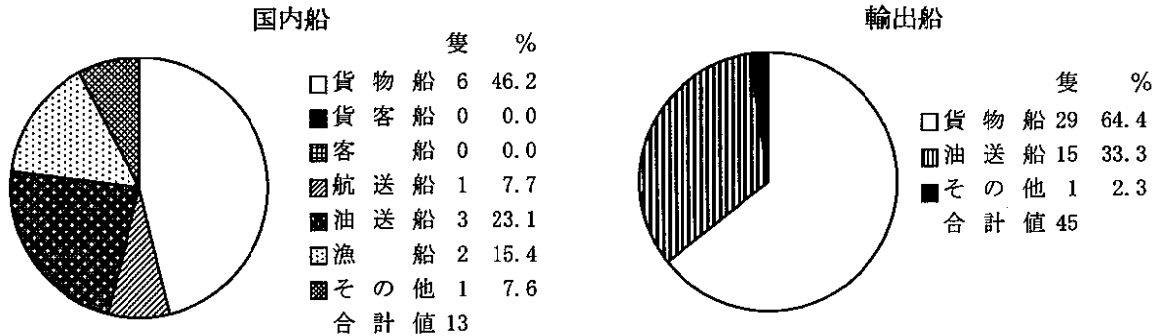


※①生産指数（月次）は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成17年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。

※②生産指数の前年同月比は、当該月のしゅん工船価を前年同月のしゅん工船価で除して求めた数値である。

#### ②しゅん工船の用途別隻数（鋼船）

しゅん工船のうち国内船は13隻、輸出船は45隻で、用途別（船種）では、次のとおりであった。



### 2. 造機調査

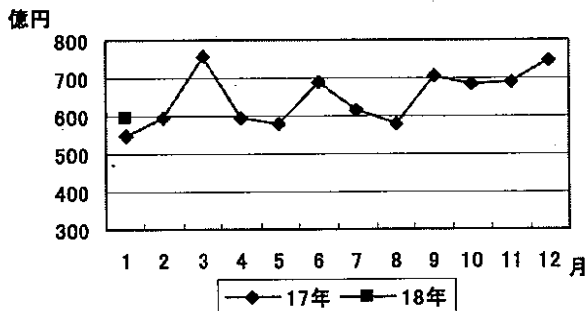
#### (1) 集計工場数

平成18年1月分の集計工場数は、420工場であった。

#### (2) 船用機関等の製造高及び月末在庫高・修繕高

船用機関等の製造高は、596億円であり、月末在庫高は、112億円であった。また、修繕高は31億円であった。

#### ①造機製造高の推移



#### ②造機月末在庫高の推移

